

2005年

# 秋 どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満  
飯塚市鯉田2525-44  
TEL 25-3280・22-9323

つくります!  
newしいろいろライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

## むら雀声する竹にうつる日の

## 影こそ秋の色になりぬれ

(永福門院)

皆様、お元気ですか。

9月22日に定例市議会が終わり、この議会活動報告を書いています。朝夕の涼しさにやっと秋を感じております。

妻の実家の稲刈りも時期がやや早い感じでしたが、台風14号の到来前に家族で手伝いに行きどうやら無事に終わりました。

この議会活動報告が皆様の手元に届く頃には、紅葉も始まり過ごしやすい気候になっていることだと思います。

さて、飯塚市は行財政改革に平成10年度より取り組んでいます。週刊「仲実」7月30日号に「最もリストラが進んだ市はどこか?・全国718都市行革度ランキング」という記事が掲載されていましたが、この記事によりますと、2003年度と1999年度の決算を比較して全国718都市の行革に対する努力ぶりを独自に評価してみたところ、

その中で、飯塚市は人員削減率・人件費比率改善度が評価され全国で27番目、九州で3番目、福岡県で1番目と行革に努力していると報じられていました。

来年3月に合併を迎え新飯塚市が誕生致しますが、その新市建設計画の中でも財政状況の厳しさが予想されていますので、今後も無駄を省き、市民の皆さんの声に応える行政を目指して議員活動を行っていきます。

飯塚市議会では、9月6日から9月22日まで定例市議会が開催されました。

今回の定例市議会においては、3月市議会の代表質問で工業団地の整備について取り組む様に要望していましたが、その進捗状況についてと、財政情報の開示について一般質問を行いました。

## 平成17年9月定例市議会報告

この定例市議会では、平成17年度飯塚市一般会計補正予算(第3号)、平成17年度飯塚市介護保険特別会計補正予算(第1号)、飯塚市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例等17件と、交通事故に係る損害賠償、市営住宅の管理上必要な和解の申立ての2件の報告事項が審議されました。

また、平成16年度飯塚市一般会計、その他8件の特別会計の平成16年度歳入歳出決算の認定については、特別委員会を設置し本会議閉会中に審議することになりました。(この平成16年度歳入歳出決算特別委員会の委員長を、推薦でわたしが務めることになりました。)

一般会計補正予算の主なものは、鯉田地区交換用地測量委託料(柳ヶ谷団地の三菱マテリアル株式会社との交換渡地測量)、シバ-人材センター貸付金1000万円、障がい者生活支援センター運営事業委託料、目尾児童館増築事業費、本町商店街アーケード改修事業補助金、飯塚公民館エレベーター等整備工事、鯉田畝割集会所鉱害復旧工事、1市4町の合併に関する経費等が計上されています。

1市4町の合併に係る経費としては、次のものが計上されています。

閉市式関係経費(200名程度の来賓を予定してコスモエ中ホールで実施)

開庁式関係経費(平成18年3月24日市役所第1・2会議室で実施)

開庁式関係経費(平成18年3月26日市役所玄関前駐車場等で実施)

市報合併創刊号作成経費

4町保護事務受入準備経費(ケースワーカー26人増員予定、事務用品、事務機器、車両5台購入費等)

4町介護事務受入準備経費(調査員13人関係経費、審査会関係経費、訪問調査車両12台経費等)

庁舎駐車場整備事業費(のがみプレジデントホール横敷地購入費、整備費)

市税一括賦課事務関連経費(臨時職員経費、納税通知書等印刷経費、給報・年金データバンク委託費)

◎今回の市議会では、指定管理者制度導入の条例が提案され、この条例の適例を次の7つの施設に導入することが提案されました。

飯塚市文化会館(コスモエ)、サン・アビリティーズいいづか、飯塚市リサイクルプラザ工房棟、飯塚市斎場、飯塚市新産業創出支援センター、健康の森公園市民プール、飯塚市営駐車場

この指定管理者制度導入の目的は、多様化する住民ニーズに、より効果的に、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつサービスの向上を図ると

もに、経費の削減等を図ることです。

わたしは、指定管理者制度の導入した施設については、縮減の目標設定を行い公募するべきであり、縮減の基準を明確にして、選考の結果の公表を行うことを要望致しました。

来春合併する飯塚市など一市四町が計画する駐車場について、同市議会は二十二日、事業費を含む一般会計補正予算案を



### 合併後の駐車場建設 飯塚市単独で整備へ

17.9.23  
西日本

#### 4町とも負担金を削除

可決した。一方、庄内、額田町議会は、事業費の負担金を削除する修正案を可決。既に筑穂、穂波両町議会も削除を決めており、これで飯塚市単独で整備することが確定的となった。

合併後の来庁者増を見込んで整備する駐車場は百十八台収容。総事業費は約二億五千五百万円で、約45万が交付税として戻る合併推進債を活用し、飯塚市が一括計上、

四町が負担金を払うことになっていた。同市議会では「他町の合意を得る努力を続ける

#### 補正予算案など 17議案を可決

飯塚市議会閉会

飯塚市議会は二十二日、九月定例会の最終本会議を開き、総額約五億七百万円を追加する一般会計補正予算案、市施設に指定管理者制度を導入

検討するという。事業費の調達方法は今後の適用ができなくなり、

これにより合併推進債の適用ができなくなり、事業費の調達方法は今後の適用ができなくなり、

新産業創出支援センター▽市営駐車場。十二月までに業者を選定し、来年四月に運営を移管する。意見書は「米国産牛肉の抽選な輸入再開に反対し、BSE(牛海綿状脳症)の完全な対策を求める」とし、首相、厚労相などに提出する。

- ◎ 庁舎駐車場整備事業については、1市4町の合併に伴い合併推進債で整備する考えで有りましたが、4町の9月補正予算がこの事業部分の予算の減額修正で可決されましたので、飯塚市単独で整備することになりました。

飯塚市の現状の市役所来庁者の駐車場の不足状況については、わたしは昨年の決算特別委員会において指摘し合併後は更に来庁者の増加が見込まれるので、対応策を考えるよう要望していましたが、今回118台の整備をする予算が計上されました。

飯塚市議会議員 どうそ (道祖) 満 \* 議員活動報告

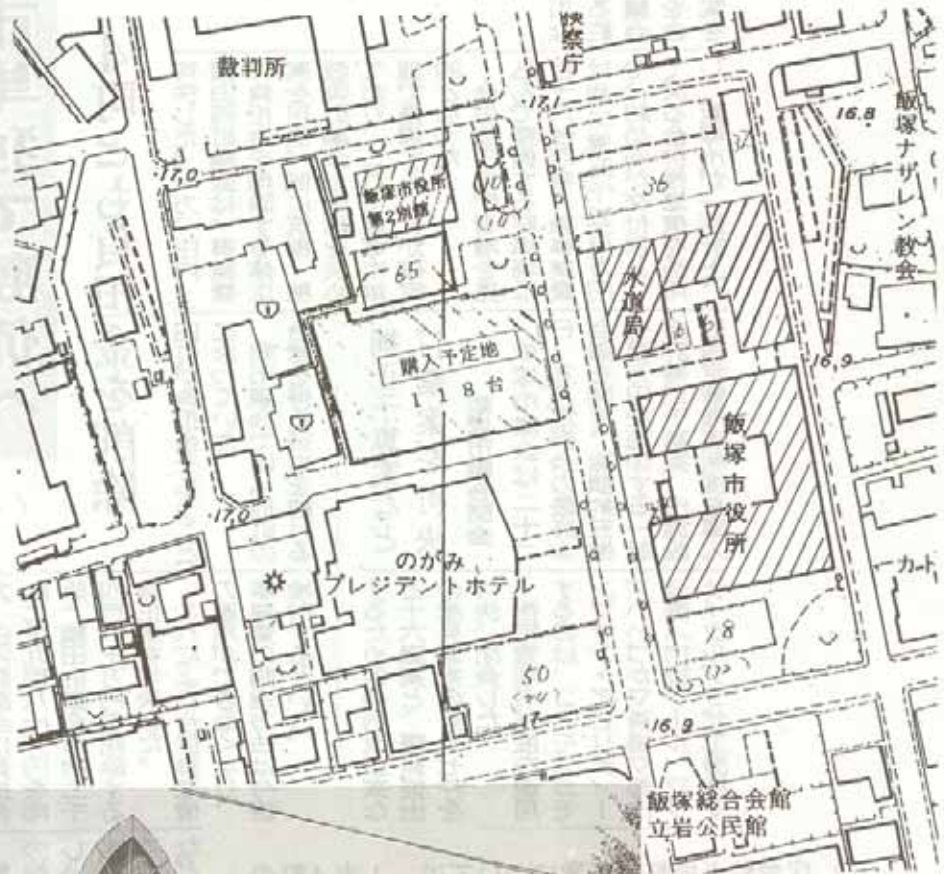
現状の駐車場は121台が駐車可能ですが、昨年度で見てもみずと年間開庁日241日中で、枠外駐車等駐車係員の整理が利かない日が44日間、100台以上の駐車有った日は159日となっています。

この様な状況で、4町から飯塚市に務める人も多くいることから、来年3月26日の合併後は、市役所の窓口を利用する機会が出てくることが考えられます。

また、合併後当分の間は現在の飯塚市役所が新市の本庁機能を有しますので、合併後市役所で会議、会合が開催された場合、1市のみではなく4町よりの参加者が増えるわけですので、駐車場の不足は今以上になることが予測されます。

駐車場の整備事業の総予算は2億5497万7千円で今回4町が合併推進債の活用に同意していれば1億1474万円が国より新市に交付税として戻ってくる内容でした。

購入予定敷地は約917坪で購入予定坪単価約26万2千円です。



飯塚総合会館  
立岩公民館

購入予定地と  
市役所との関  
係位置図

## 産業振興に関連して一般質問

今年の3月市議会で産業振興に関連して、健康の森公園整備事業の見直しをおこない、企業誘致のために工業団地に変更を考えてはどうか提言致しましたが、その後の地元との協議の進捗状況についてと、鯉田地区の炭坑跡地の工業団地への利用の検討はどうなっているのか、一般質問を行いました。

◎ 健康の森公園整備事業の見直しについてはどのように進めているのか。  
この質問の答弁としては、社会経済情勢等が大きく変動しており、この事業の見直しについて地元町内会等の承諾を受け、5月16日に「目尾地域振興基本計画検討委員会」を設置した。とのことでした。

◎ 検討委員会にて見直しを行う未着工部分の敷地面積はいくらあるのか。  
この質問の答弁としては、未着工部分には野球場・テニスコート、保健・医療・福祉総合施設、研修施設、科学館、野外保育広場が計画されており、その敷地面積は3万1550坪です。とのことでした。

◎ 検討案の素案を提案しているが、今後地元との協議をどの様に進めて行く考えなのか。  
この答弁としては、検討委員会、住民説明会に提案した素案はたたき台があり、地元から意見・要望が出ていますので十分な協議を行っていき12月までに見直し案をまとめたいたいと考えている。とのことでした。

◎ 鯉田地区の炭坑跡地の利用については、「工業団地の候補地の1つとして考えて、今後も適地の掘り起こしについても民有地を含めて関係各課協議を行っていきたいと考えている。」とのことでもあったが、その後どうなっているのか。

この答弁としては、これからの街づくり、産業振興には製造系の工業団地を確保し企業誘致を積極的に行い、税収増加を図るとともに、雇用の促進、さらには定住人口の拡大を図ることは重要課題と認識している。民有地である鯉田地区の炭坑跡地については、所有者の三菱マテリア株式会社とは何度も話し合いを行い、「飯塚市の活性化のためには全面的に協力します。」と言われており、市としては関係各課、関係機関等とも協議を重ね、調査・研究を行っている段階であります。との答弁で年内には何らかの結論を出したいとのことでした。

◎ 企業からの飯塚市への進出に関しての問い合わせ状況は、その後どうなっているのか。

この答弁としては、非公式であるが、2社から問い合わせがあっている。とのことでした。

現状、市には工業団地が無く、その中での企業誘致は無理があり対応が急がれます。

## 財政情報の開示について一般質問

現在、飯塚市の決算についてはこれまで、市報等で市民のみなさんへ公開されていますが、他の類似の自治体との比較が出来るものにはなっていませんでした。

今回、総務省より平成17年6月22日に「団体間で比較可能な財政情報の開示について」の通知が出されていますので、これについての市の認識と今後の取り組みについて質しました。

◎ 総務省よりの「団体間で比較可能な財政情報の開示について」の通知が出されているが通知について知っているのか。知っているならば、この通知の目的についてどのような見解を持っているのか。

この質問に対する答弁は、総務省の通知には承知している。この通知の目的に対する見解は、通知にも在ります様に、地方財政が厳しく、地方公共団体が住民等の理解と協力を得ながら財政の健全化を推進していくためには、自らが積極的に財政状況を公表していかねばならず、他団体との比較可能な指標やグラフ等を用いてわかりやすく公表することによって、財政の運営上の課題を明確にし、財政構造の改善に反映させていくことは重要なことであると考えている。とのことでした。

◎ この通知では、平成16年度決算について各指標の数値を入力した財政比較分析表の様式を平成18年2月上旬に総務省から提供され、その様式に従って各地方団体は、自主的に分析を行ったうえで、3月上旬に公表することが求められますが、どのような形で公表するのか考えがあればお示し下さい。

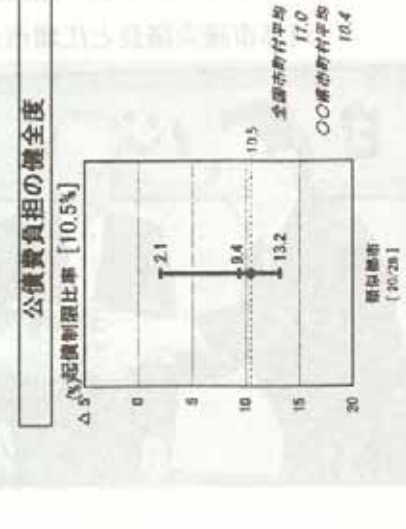
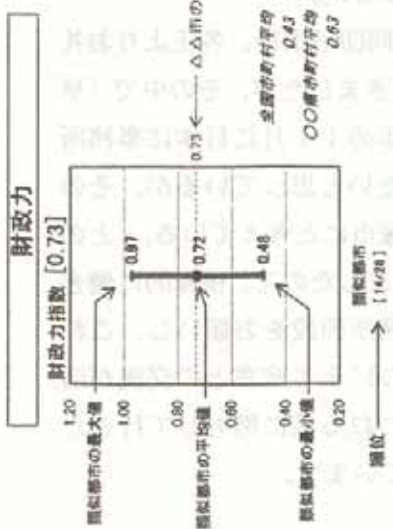
この質問に対しての答弁は、ご質問の通りであり、市独自の分析を行ったうえで、公表の方法については、市報の活用など検討していきます。とのことでした。

◎ 「団体間での比較可能な財政情報の開示」の主旨を考えると、自治体の財政上の課題を明確にすることに有るのではないかと考えますが、飯塚市は平成18年3月26日に合併しますが、1市4町のデータを合算したものを作成しなければ、他の団体との比較は出来ないのでは無いかと考えます。また、新市の財政上の課題を明確にすることが出来ないのではないかと考えますが、どのように行政は考えられますか。

この質問に対する答弁は、1市4町の合併後の新市建設計画の中に明記しているように、行政改革による財政の立て直しが急務であり、合併後の行政改革を進めるうえでも、新市の財政課題を明確にし、公表することが不可欠であると考えています。1市4町のデータを合算した財政比較分析表の作成については、類似団体の指標の把握等の関係から、直ぐに作成することは難しいかとは思いますが、出来るだけ早く作成して公表していく考えです。とのことでした。

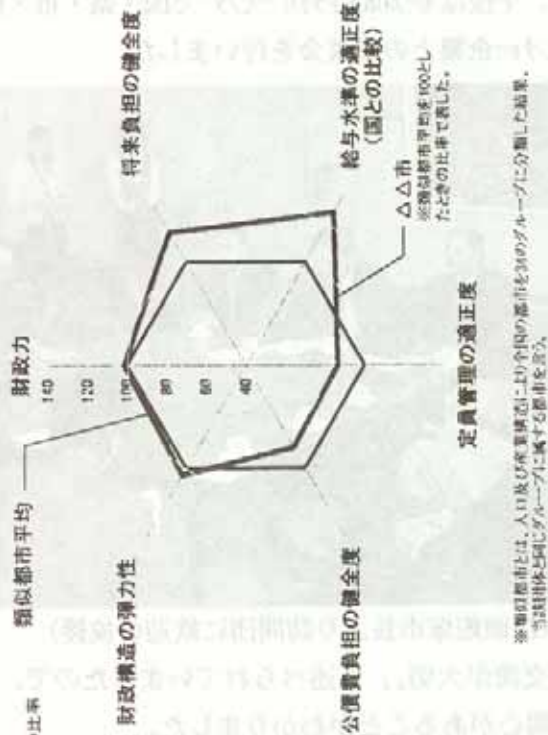
# 財政比較分析表(イメージ)

(別添)



## 〇〇県 △△市

人口	129,236人(国勢調査)
面積	63.19 km <sup>2</sup>
成人総額	31,223,867千円
歳入総額	31,217,996千円
実収支	5,036千円



### 分析欄

**経常収支比率**：類似都市平均を下回っているが、福祉関係経費の増加により比率は年々悪化している。人件費の削減など行財政改革への取組を通じて職務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

**経債制償比率**：ごみ処理施設及びリサイクルセンター建設事業費に依る起債の償還等に伴い上昇し、類似都市平均をやや上回っている。大規模な事業を抑制し、適切な地方債管理を行うことにより、今後5年間で類似都市の水準まで低下させる。

**ラスパイルズ指数**：職員の給与カット(管理職員5%、一般職員3%)の実施により、類似都市の中では最低水準にある。今後は各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

**人口1,000人当たり職員数**：人口急増期の大量採用により、類似都市平均を上回っている。定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進により、今後5年間で職員数を5%(50人)削減する。

財務省資料より

## イントから視察団が飯塚市を訪問

今年の5月10日のイント国際情報技術大学院のスリス・スリニガ教授の飯塚市訪問に引き続き、8月29日にイントから5人の方が、飯塚市を訪問されました。

今回の訪問団のメンバーは、「T・バラクリヤン」ケラ州政府主要産業長官、「スレシュ・バブ」ケラ州ITパーク代表、「シヨセ・アレックス」ケラ州ラジャキリ工業技術学校理事、「ハビール・マシュー」海外技術者協会日本・ケラセンター総裁、「デービス・セハスファン」イント・コスモシステムズ株式会社代表取締役社長の5人の方々の、飯塚市長への表敬訪問後、近畿大学産業理工学部を訪問しイントの大学との交流について懇談を行い、午後はe-ZUKAトライバセンターで国・県・市・産業支援機関等と懇談会を行い、その後ベンチャー企業との懇談会を行いました。

この訪問団はわたしたちが4月末にイントケラ州コチン市を訪問した際に是非飯塚市を見て頂きたいと要望し実現したのですが、バラクリヤン主要産業長官は「東京-ニューデリーなどの大都市間



(江頭飯塚市長より訪問団に歓迎の挨拶)

だけで無く、今後は地方都市間の交流が大切。」と述べられていましたので、イントケラ州としても飯塚市との産業交流に関心があることがわかりました。

(岡部市議会議長と江頭市長とバラクリヤン長官)



また、訪問団帰国後、各氏よりお礼のメールを頂きましたが、その中で「早ければ今年の11月に日本に事務所を開設したいと思っているが、その際には飯塚市にと考えている。」とのメールもありましたので、積極的に働きかけて事務所開設をお願いし、これを機会にイントIT産業との交流が活発に行われる様に努力して行きたいと考えています。